

まちかど
街角アルバム 四季折々

署名記事はまちかど特派員から。皆さんからの情報もお待ちしています。☎秘書広報課 ☎70・5606



梅雨彩る、市の花バラ

6月13日、梅雨時、つかの間の快晴の朝、城山公園の花木園で色とりどりのバラが咲いていました。春の開花シーズンの終わり頃にも関わらず、甘い香りが漂っており、来園者の皆さんを癒し、和ませている様子でした。市は、昭和49年に市の花としてバラを制定しています。 【高橋 元】



ハナショウブの名所 蟹ヶ谷公園

6月12日の昼下がり、梅雨の合間を縫って蟹ヶ谷公園に出掛けるところ、ハナショウブ、カキツバタの名所である湿生園では、紫や白い花びらが見頃を迎えていました。あずまの近くにあるショウブ田では、葉平や千鳥、千早城の名が付いたハナショウブが、みやびやかな彩りを競っている様子でした。 【秋元 謙治】



テレビ番組でも取り上げられた「回想法」の講座

5月17日、中央公民館で第1回「回想法リーダー養成講座」が開催され、28の方が受講しました。懐かしい物や映像を見て思い出を語り合うことで、脳を活性化する同法の紹介や事例を挙げて、その効果などの説明がありました。参加者は4グループに分かれ、自分の出身について語り合うグループワークを行いました。 【渡貫 トム子】



あやせのブルーベリー

6月16日、上土棚にあるベリー農園では、ハイブッシュブルーベリーの摘み取りをしている人たちの姿がありました。海老名市から来た親子は毎年楽しみに来ているそうです。綾瀬市内在住の若い方々は、5月の光・食・文化の祭典に参加した際に、この農園を知ったそうです。 【馬場 正勝】



春から夏へ

5月19日、比留川沿いにあるバス停「観音橋」付近の深谷中央2号公園で、アイランドポピーが満開でした。開花時期が春であるアイランドポピーが、春から夏へ、季節の移り変わりを告げているようでした。道路から少し離れた場所にベンチもあるため、訪れた方の憩いの場所になりそうです。 【篠塚 常夫】



朝

6月16日、朝早くの風車公園では、何人かの方々が散歩していました。犬の散歩やジョギングをしている方などもおり、それぞれ、すれ違う人とあいさつを交わしていました。この公園からは、日の出が見えます。園内を回る皆さんは、朝日を浴びて散歩をすることで、元気いっぱいにご遊んでいる様子でした。 【篠塚 常夫】